

目次	・AMAT研修	・・・ 1	・部署紹介 - 臨床検査科 -	・・・ 5
	・News	・・・ 2	・放射線の基礎知識	・・・ 6
	・新任のご挨拶	・・・ 3	・新入職員紹介、編集後記	・・・ 7
	・ME機器の管理について	・・・ 4	・外来診療表	・・・ 8

## AMAT研修

循環器内科医長 古賀 敏

災害と言えば先日のドイツ:ジャーマンウイング旅客機事故(3/24死者150人)が記憶に新しいと思います。国内に目を向けると、近年では東日本大震災(平成23年、死者15881人 行方不明者2668人)が発生しており、又南海トラフ巨大地震による甚大な被害が懸念されています。これらの人為・自然災害の特徴は、瞬時に多数の死傷者が発生し、通常の救急医療と異なり早期には圧倒的に医療資源(人員・物資)が不足し、限られた資源の下で適切な対応が求められます。

AMATとはAll Japan Association Medical Assistance Team(全日本病院協会 災害時医療支援活動班)で先の東日本大震災の教訓から創設されました。主に急性～亜急性期の支援を行政・DMAT(超急性期の医療活動を担うチーム)やJMAT(日本医師会の支援チーム)等と連携し行います。



【2/21・2/22 第3回AMAT隊員養成研修の様子】

当院からは私、古賀 敏(医師)・東 亜紀(看護師)・谷口 慎一郎(業務調整員)の3人がAMAT隊員として2月21・22日東京の全日本病院協会にて開催されたAMAT隊員養成研修を受講して参りました。災害概論(災害医療の特徴)・東日本大震災時に活動された講師の先生方の講義を聞き、派遣シミュレーションやトリアージ(治療の緊急度・重症度を迅速に評価して優先順位決定を行う)の討論・試験を受けました。

そして研修直後の去る3月4日、熊本空港での航空機事故救急医療訓練に参加しました(次ページ参照)感想として「こういった訓練は場数を踏む事が必要!!」又「こんな準備が必要なのでは?」と考える機会にもなり、非常に良い経験となりました。(実際に活動する機会は無いに越した事はありませんが...)万全の準備や日々の研鑽を積んで行きたいと思います。



【左から 東亜紀(看護師)、古賀敏(医師)、谷口慎一郎(臨床工学技士)】

News

2015/3/4(水)

## 航空機事故救急医療訓練に参加



平成27年3月4日(水)、熊本空港にて滑走路上で起きた航空機事故を想定した、200人規模の医療訓練が行われました。

訓練は、航空機が熊本空港への着陸に失敗し、滑走路上で炎上したという想定で行われました。参加したのは医療機関や自衛隊、近隣自治体など54機関で、当院からは古賀敏(医師)、谷口慎一郎(臨床工学技士)、東亜紀(看護師)が参加しました。訓練では医師会を含む各医療機関が協力し、約40名の模擬負傷者の救護にあたりました。



【当院、東亜紀(看護師)の「AMAT隊員養成研修受講修了証」】

### ～訓練に参加して～

多くの医療機関が参加する中、私は救護地区の活動に参加しました。統括である熊本赤十字病院の指揮のもと、救助者の状態把握やトリアージタグの追加・修正、搬送までできる救命処置を医師と共に行いました。救助者役の方もいて、現場さながらの緊張感がありましたが、実際の現場は更に混乱していると思います。医療スタッフや物品の不足が予想される中、多くの方を救うためには、冷静に優先度を考えること、報告・連絡・相談を行い、医療者間の連携を機能させることが大切だと思いました。



看護師  
東 亜紀



# 新任のご挨拶

看護部長 多田隈 和子



このたび、平成27年4月1日付けをもちまして看護部長に就任いたしました多田隈和子(ただま かずこ)と申します。今年3月31日まで熊本大学医学部附属病院の副看護部長として勤務しておりました。前看護部長(河西澄子氏)が作られた「優愛和」の看護部理念に基づいた看護部を大切に、新たな風を取り込み活性化できるよう邁進していく所存でございます。皆様のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

さて、社会は2025年を見据えた社会保障制度改革の動きが進んでおり、少子・超高齢・多死社会における高齢者支援は、私たち看護職が立ち向かっていく大きな課題であるといわれています。

菊池の地域における課題としては、「チーム医療の強化」と「看護職の能力開発」「人材確保」であると考えます。

まず「チーム医療の強化」では、現在当院は医師を中心に、看護部、診療部門のコメディカル、事務部門が職種を超えた連携を行い、患者様の社会復帰への援助を行っています。これから看護師には、多職種のスタッフと協力し、医療の質を高めていく力が求められています。患者様の生活に視点を置いた援助ができる看護師がリーダーシップを発揮できるような取組みを支援していきます。

次に「看護職の能力開発」につきましては、看護部の教育理念に基づき、新人から達人ナースへ、又スペシャリストナースへと各職員の目指すキャリアアップを支援する仕組みがすでに整っています。これから地域の中核病院として、地域の看護職の方も参加しやすい教育プログラムの構築をしていきたいと思っております。看護師として成長するためには、自分で考え行動できることが重要です。「なぜこの看護が必要なのか」根拠を考えることで、自分自身の看護が深まり、視野が広がるきっかけになります。当院の看護師は、「看護師ポートフォリオ」を各自が持っており、キャリアアップの指標にしています。全ての看護師が、自律した看護師に成長できるよう皆で力を合わせ取り組んでいこうと思っております。

「人材確保」については、地域全体として大きな課題でもあります。看護学校訪問や就職説明会等に出向き、求人を行っています。中々確保するのは難しいのが現状です。大切なことは、一人でも多くの実習生が「この病院で働きたい！」と思ってもらえるよう私達がイキイキと楽しく働き続けることではないでしょうか。現在菊池郡市医師会立看護高等専修学校や城北高校から看護実習生を受入れており、病棟は患者様のケアや実習生の指導で大変ですが、指導は自己の成長にもつながり、よい指導者の下に人は集まってきます。皆で私達の後輩を育てる心で、良い人材の確保を目指して行きます。

また、現在当院は急性期病院からの受入れも多く、患者様の急性期から地域医療へ移られる際、情報を一早く把握し、スムーズな受入れができるように、急性病院との人事交流を行うための仕組み作りが必要と考えます。実現すれば、双方の人材育成にも貢献できると思っております。

最後に管理者として、医療を取り巻く社会の情報を積極的に収集し、適切な病床運用ができるよう病院経営に積極的に参画していきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



# ME機器の 管理について



病院の中には、多くの医療機器（ME：Medical Equipment）が使用されています。人工透析装置もそうですが、病棟では輸液ポンプやシリンジポンプ等も使用され、患者様の命を支えています。平成19年に厚生労働省から「医療機器安全管理責任者は薬事法第2条第4項に規定する病院等が管理する医療機器全てに関わる安全管理の為に体制を確保しなければならない」と通達されました。これは今まで各部署で管理されていた様々な機器を一括管理し、機器に関わる医療事故を防ぎ、安全に使用できるように、各病院に通達されたものと考えられます。よって、保健所による医療監査の時は、医療機器に関する点検記録簿の提出を求められ、一つ一つ質問されます。また研修の実施に関しては、参加された人数と研修内容そして、研修計画までも確認されます。



使用中の人工呼吸器が、安全に動作しているか確認しています。

当院では、平成25年11月にME機器を中央管理化し、安全管理の体制を始めました。そして、循環器内科部長の石坂先生を委員長に毎月第一水曜日に「医療機器安全管理委員会」が開催されています。各部署でのME機器使用に関する問題点等を中心に議論され、人工呼吸器の使用状況や残り台数の確認を行い、適正な管理運用がされているかを確認し、問題点があればその解決方法が議論され、解決策を実施する事になります。

このように病院の安全を医療機器の立場から守るのが、臨床工学科の使命と考え、日々の仕事に努力している所です。



緊急時に使用する除細動装置等は、日々の点検が重要なのです・・・。

# 部署紹介

## 臨床検査科



当院の臨床検査科は、病気の早期発見や診断・治療、および健康管理等を行うために必要不可欠である検査情報を「正確かつ迅速に」提供することを業務としています。ここでは検査技師の日頃の仕事について紹介いたします。

臨床検査は、患者様から採取した血液、尿等さまざまな検体の分析を行う「検体検査」と、心電図・超音波・肺機能等、患者様に直接接し測定して得た情報により各部位の機能を調べる「生理検査」の2つに大別されます。これらのデータは診断の指標や治療の効果を見るために必要不可欠で、院内検査はもとより、共同利用施設としての医師会会員からの受託検査、各種健診検査も実施しています。また、夜間・休日の緊急検査依頼にはオンコール体制で24時間対応しています。

### 【検体検査】

#### 生化学検査

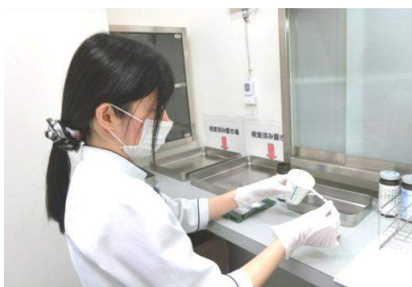
血液中の蛋白質、脂質、糖質、各種酵素を測定し、肝・腎機能や炎症の度合い等を調べます。

#### 血液・凝固検査

血液検査では、赤血球・白血球・血小板等を測定し、HbA1cも測定します。凝固検査は血液が固まる機能や血栓症の原因となる凝固異常を調べる検査です。

#### 輸血・免疫検査

血液型・交差適合試験(輸血される血液と輸血を受ける方の血液が適合するかを調べる検査)、肝炎ウイルス関連検査、梅毒検査、腫瘍マーカー、及び内分泌ホルモン定量検査等を行います。



#### 一般検査

尿では腎機能障害、尿路系疾患、糖尿病等を調べます。便では下部消化管のわずかな出血を検出することで大腸がんの早期発見につながります。

#### 細菌検査

喀痰や膿、血液等あらゆる検体から感染症の原因となる細菌等がないか調べます。

### 【生理検査】

心電図、負荷心電図(マスター・トレッドミル・エルゴメータ)、ホルター心電図、ABI/PWV検査、肺機能検査、超音波検査(腹部・心臓・頸部・下肢等)、眼底カメラ、終夜睡眠ポリグラフィー(PSG検査)、聴力検査、24時間血圧計検査等

そのほか、感染対策、糖尿病教室そして、検査相談が出来る技師の育成等他の医療スタッフと連携を取りながらチーム医療や地域医療に貢献すべく、より信頼性の高い臨床検査科を目指しスタッフ全員一丸となり取り組んで参ります。

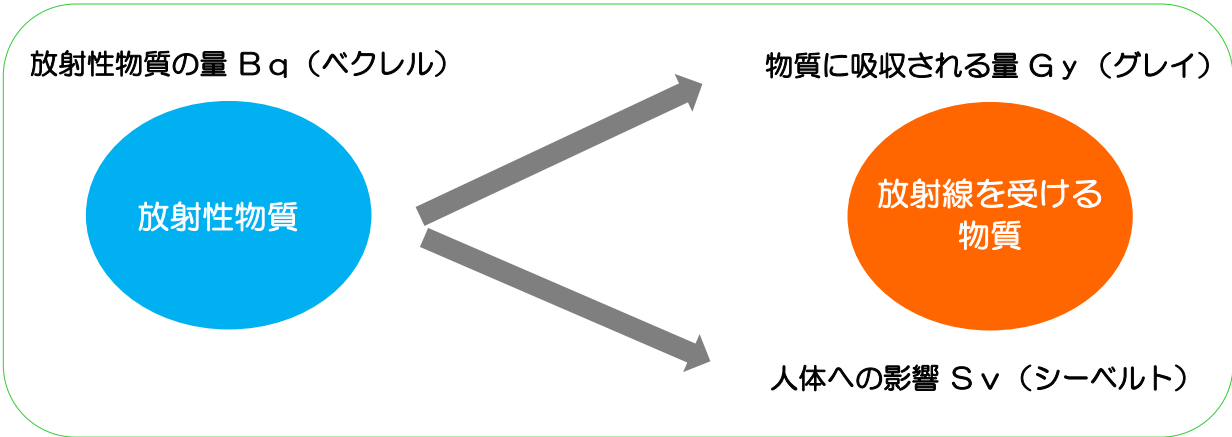




# 放射線について

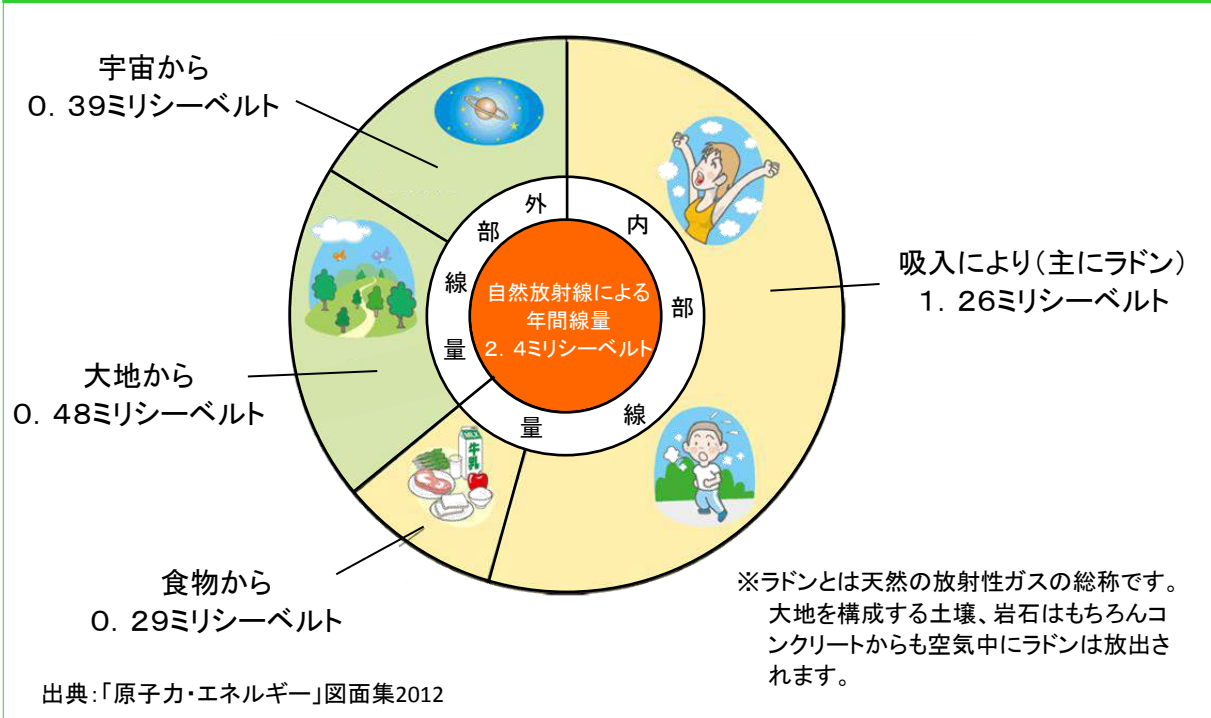
放射線科

「放射線」にはエックス線、アルファ線、ベータ線、ガンマ線、中性子線などいろいろな種類があります。放射線を出す能力を「放射能」といいます。放射能をもつ物質が「放射性物質」です。放射能は「Bq(ベクレル)」、放射線は「Gy(グレイ)」と「Sv(シーベルト)」という単位で表します。



そして、私たちは放射線の中で暮らしています。自然からの放射線を「自然放射線」といいます。現在、一人が一年間に受ける自然放射線は、約2.4ミリシーベルトといわれています。

## 自然放射線から受ける1人あたりの年間線量 (世界平均)



ちなみに病院で行っている胸部の直接撮影の線量は0.06~0.15ミリシーベルトくらいです。

# 新入職員紹介 (4・5月付)



腎臓内科医師  
**植田 美紀**  
趣味・特技 茶道  
初心に戻り頑張ります。



代謝・内分泌内科医師  
**信岡 謙太郎**  
趣味・特技 読書、格闘技、料理  
今後菊池地域では長く仕事をしていくことになるかと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長  
**多田隈 和子**  
趣味・特技 料理、バレーボール  
地域に根ざした医療・介護がさらに発展するよう皆様と一緒に頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



看護師  
**秋山 佳奈子**  
趣味・特技 バトミントン  
4月から看護師として働かせて頂きます。精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



看護師  
**上田 幸**  
趣味・特技 お買い物  
4月から看護師として勤務させていただくことになりました。一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



診療放射線技師  
**森山 晏菜**  
趣味・特技 バレーボール  
4月から診療放射線技師として勤務させていただくことになりました。笑顔で明るく精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



理学療法士  
**鮫島 隼人**  
趣味・特技 釣り・居合道  
鹿児島出身、鮫島隼人です。新人ですがよろしくお願いいたします。



理学療法士  
**川口 朋美**  
趣味・特技 読書  
一生懸命に頑張らせていただきます。よろしくお願いいたします。



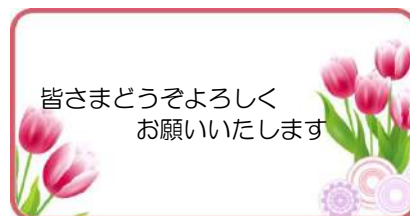
臨床工学技士  
**中嶋 駿**  
趣味・特技 ギター  
明るく元気に精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



ケアワーカー  
**松永 憲明**  
趣味・特技 音楽を聴く、テニス  
一生懸命頑張ります。よろしくお願いいたします。



作業療法士  
**藤本 舞**  
趣味・特技 甘い物を食べる事が好きです。  
以前は大牟田で勤めていました。これからは菊池の地で元気に働いてまいります。



## 編集後記



新緑の美しい季節となり医師会立病院では4・5月に11名の方々を迎え活気あふれるスタートをしました。新たな皆さんと一緒に楽しくお互いに協力しながら、仕事に遊びに頑張っていきたいと思えます。

これから梅雨時期を迎えることとなりますが皆様には、健康管理に十分留意されてください。



## 菊池郡市医師会立病院 外来診療表

	午前/午後	月	火	水	木	金	土
総合内科	午前		信岡 謙太郎		松田 浩治		松田 浩治
糖尿病センター 代謝内分泌科	午前	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也 矢野 智彦	田口 哲也	信岡 謙太郎	矢野 智彦 古賀 荒太郎	田口 哲也
循環器内科	午前	予約	石坂 浩	古賀 敏	石坂 浩	熊大 循環器科	古賀 敏
	新患	古賀 敏	石坂 浩	古賀 敏	熊大 循環器科	石坂 浩	
腎臓内科	午前					緒方 智博	
	午後		(主)植田 美紀 (副)緒方 智博				
消化器内科	午前			検査のみ (熊大 消化器科・他)	済生会 熊本病院		
	午後			検査のみ	検査のみ (済生会熊本病院)	検査のみ	
神経内科	午前			井上 泰輝 (熊大 神経内科)			
放射線科 (CT・MRI)	午前/午後	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	本田 伸	仙波 明子 (熊大 放射線科)

外来受付時間：午前8時30分から午前11時30分

診療時間：午前9時から午後12時

※午後の腎臓内科は予約制となります。

※検査は予約制となります。

## 【病院理念】

かかりつけ医の先生方と連携して、地域の皆さまに信頼され、愛される病院を目指します。

## 【基本方針】

- ・チーム医療と地域連携に努めます
- ・より良い医療の提供を目指し、研修・研鑽に努めます
- ・自己満足に陥ることなく、業務改善に努めます
- ・病院の健全な運営を目指します



一般社団法人 菊池郡市医師会

菊池郡市医師会立病院

〒861-1306 熊本県菊池市大琳寺75番地3

TEL:0968-25-2191 FAX:0968-24-5762 <http://www.kikuchi-hosp.com/>

発行責任者：病院長 矢野 智彦

